

科目名 「 歯科診療補助論Ⅰ 」

学年	学期	科目責任者
1	前学期	中澤 広美
科目ナンバリング	C-10-⑦-I-25	
単位数	2	
学習目標 (GIO)	歯科衛生士が行う歯科診療の補助について技術を身につけるために、必要な基本概念および医療人としての心構えを理解し、実習を通じて技能・態度を修得する。	
担当教員	専任教員：★中澤 広美、★岡元 明菜、★石橋 肇 学事委員：★齋藤 真規	
教科書	最新歯科衛生士教本 『歯科診療補助論 第2版』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 最新歯科衛生士教本 『歯科機器』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株)	
参考図書	新歯科衛生士教本 『歯科診療補助 受付対応・事務』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 新歯科衛生士教本 『歯科診療補助』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 最新歯科衛生士教本 『歯科診療補助論』	
評価方法 (EV)	定期試験(80%) 実習課題(10%) 履修態度(授業実習の積極的参加・出欠)(10%)とし、総合的に評価する。	
学生への メッセージ	<p>「歯科診療の補助」は法的に定められた医療行為である。歯科衛生士にとって主要な業務のひとつであり、高い専門性が求められる。患者の年齢、性別、疾患など患者のパーソナリティを理解すること、医療安全や感染予防などに努めることは歯科衛生士としての責務である。また口腔領域に限定をするのではなく、口腔を全身としてとらえ、多職種と連携を図り、チーム医療の一員である自覚を持つことも大切である。そのためには歯科診療補助の知識・技能・態度を習得し、医療人としての基本を学んでほしい。特にこの歯科診療補助論Ⅰでは基礎を学ぶ。</p> <p>技能は最初から上手くいくものではない。上手くいかなかった時は「どうしてそうなったのか」「なぜそれが必要か」など振り返りをした上で、訓練を重ねてほしい。</p> <p>毎授業、講義・実習を同時に行うので、時間を大切に臨む必要がある。また医療人として体調管理に留意をし、欠席しないよう心がけること。原則として欠席した学生への補講は行わない。また、理解できなかったことや実践出来なかったことは講義・実習の中で積極的に質問し、その場で解決するようにしてほしい。</p>	
オフィスアワー	月～金 17:00～18:00	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/4(木) 第2回 4/11(木)	授業ガイダンス 歯科診療補助の概要	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 ・年間の授業計画及び進め方について理解する。 ・歯科医療現場における歯科診療補助ができるようになるための知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 ・歯科衛生士の役割、業務内容、法的責任を理解できる。 ・歯科診療補助の目的を理解できる。 ・歯科診療の補助と歯科診療の介助の違いを述べることができる。 ・歯科診療補助における歯科衛生士の役割を列挙できる。 ・チーム歯科医療の必要性を述べるができる。 【準備学習項目・時間】 予習：最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』I編1章を読んでおくこと。(60分) 復習：歯科診療の補助における歯科衛生士の責務をまとめること。(60分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 講義、グループディスカッション、レポート	★中 澤
第3回 4/18(木) 第4回 5/9(木) 第5回 5/16(木)	医療安全・感染予防	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 医療安全と感染予防について理解し、院内感染予防のために必要な手指消毒の知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 ・感染リスクを説明できる。 ・医療安全の目標を述べるができる。 ・標準予防対策(スタンダードプリコーション)を説明できる。 ・適切な手指消毒が実践できる。 ・正しいマスク・グローブ・ゴーグルの付け方・外し方を実践できる。 ・医療廃棄物の取り扱いを理解し、分別ができる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学習項目・時間】 予習：実習は上下白衣着用になるので実習にふさわしい身だしなみについて考え実行できるようにすること。最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』II編1章3章を読んでおくこと。実習時には講義内容を十分に復習して臨むこと。(60分) 復習：医療安全及び感染予防がいかに大事なことをまとめること。手指消毒の方法を復習すること。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義、手の細菌培養および観察実習、手指消毒実習、グループワーク、レポート	★中 澤 ★岡 元 ★石 橋 ★齋 藤

<p>第6回 5/30 (木) 第7回 6/6 (木)</p>	<p>診療室の整備・管理・診療用器材の取り扱い 医薬品・歯科材料の管理</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科診療室における共同動作を行うのに必要な診療室の環境、歯科用ユニット等の設備、薬品について理解し、管理方法を知る。 【行動目標 (SBOs)】 ・診療室の環境と設備を整えられる。 ・歯科用ユニットの各部名称を述べるができる。 ・歯科用ユニットの取り扱い・管理ができる。 ・各種滅菌方法を述べるができる。 ・消毒薬の管理について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学習項目・時間】 最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』Ⅱ編第3章、『歯科機器』1章2章を読んでおくこと。 実習時には講義内容を十分に復習して臨むこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義・実習・グループワーク、レポート <u>*5/23早期臨床実習のため6/24に振り替えあり</u></p>	<p>★中 澤 ★岡 元 ★石 橋</p>
<p>第8回 6/13 (木)</p>	<p>衛生材料 歯科診療時の診療補助～保存治療～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 ・歯科診療に使用する衛生材料作製のための技能を修得する。 ・保存治療時の診療補助ができるようになるための知識・技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 ・衛生材料の使用目的、種類、作製方法を述べるができる。 ・根管処置の概要、ブローチ綿栓の目的、取扱いを説明できる。 ・衛生材料(綿板、ロールワッテ、綿球)、ブローチ綿栓の作製ができる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学習項目・時間】 新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』2編1章を読んでおくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義・実習・グループワーク、レポート</p>	<p>★中 澤 ★岡 元</p>
<p>第9回 6/24 (月) 第10回 6/27 (木) 第11回 7/4 (木) 第12回 7/11 (木)</p>	<p>共同動作 I</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科診療時の診療補助(共同動作 I)ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 ・「共同動作」の意義・目的を述べるができる。 ・術者・補助者・患者のポジショニングを実践できる。 ・診療時の正しいライティングができる。 ・診療に応じた器具の受け渡しができる。 ・消毒・滅菌器具の管理ができる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学習項目・時間】 予習：最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 2版』Ⅱ編1章、『歯科機器』1・2を読んでおくこと。(60分) 復習：患者の気持ちを考え、どのような配慮をすべきかを考えまとめること。また補助者との連携においては何が大切かを考えまとめること。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義、相互実習、グループワーク、口腔細菌培養、レポート <u>*6/20早期臨床体験実習Ⅱのため7/22に振り返る</u></p>	<p>★中 澤 ★岡 元 ★石 橋 ★齋 藤</p>

<p>第13回 7/18 (木)</p>	<p>滅菌・消毒と 感染予防</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科医療における感染症の概念を知り，生体での実習を行う上で必要な，感染予防対策や感染性医療廃棄物の取り扱いについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 ・医療安全管理について再考し，場面に応じた対応を具体的に述べられる。 ・各種滅菌器械の取り扱いを説明できる。 ・各種滅菌器，消毒薬の管理を説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学習項目・時間】 予習：最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』I編 1章 『歯科機器』1章2章を読んでおくこと。(60分) 復習：口腔内常在菌の実際をみて、自己管理はもちろんのこと、医療人としてどのようなことに気をつけるべきかを考えること。滅菌器械及び消毒薬の特徴、取り扱い(温度・時間・毒性・環境汚染)、適用をまとめる。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義、口腔細菌観察、グループワーク、レポート</p>	<p>★中 澤</p>
<p>第14回 7/22 (月)</p>	<p>共同動作II ①</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科診療時の診療補助(共同動作II)ができるようになるための知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 ・口腔内洗浄，バキュームテクニックの必要性を説明できる。 ・部位ごとのバキューム操作について説明ができる。 ・歯科診療におけるフォーハンドの手順を知ることができる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学習項目・時間】 予習：最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』II編 1章を読んでおくこと。(60分) 復習：スリーウェイシリンジ、バキュームの操作方法及びフォーハンドの手順を復習する。(30分) 【学習方略 (LS)】 講義、実習、グループワーク、レポート</p>	<p>★中 澤</p>
<p>第15回 7/25 (木)</p>	<p>共同動作II ②</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 バキュームテクニックおよび器具の受け渡しを身につけるためにマネキン実習を通じて知識・技術・態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 ・バキューム禁忌部位が述べられる。 ・マネキンにて部位ごとのバキューム操作ができる。 ・マネキンにて器具の取り扱いおよび受け渡しが実施できる。 ・安全に配慮し実習に参加することができる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学習項目・時間】 予習：最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』II編 1章を読んでおくこと。(60分) 復習：歯科診療補助論II第1回目2回目3回目は共同動作の相互実習になるので、マネキン実習で基礎を復習し実践できるよう訓練をする。 【学習方略 (LS)】 講義、実習、グループワーク、レポート ＊歯科衛生士概論I・歯科保健指導論Iに振り替えのため授業変更</p>	<p>★中 澤 ★岡 元 ★石 橋 ★齋 藤</p>